

よせしま ひめした よせしま ひめした
 寄島遺跡 姫下遺跡 寄島・姫下遺跡
 ひめした むかいだ むかいだ かめづか
 姫下・向田遺跡 向田・亀塚遺跡(本発掘調査A)

所在地 安城市小川町・東町・桜井町地内
 (北緯34度54分35秒～55分18秒
 東経137度05分43秒～05分56秒)
 調査理由 中小河川改良事業(一級河川鹿乗川)
 調査期間 令和4年6月～令和5年2月
 調査面積 480㎡
 担当者 堀木真美子・河嶋優輝・池本正明



調査地点 (1/2.5万「安城」50%縮小)

調査の経過 調査は愛知県建設局河川課による中小河川改良事業(一級河川鹿乗川)に伴う事前調査として、愛知県県民文化局を通じた委託事業として実施した。調査面積は計480㎡である。

調査地点は現市道下および鹿乗川とそれに平行する水路間の堤防部にあたり、現市道下は2.5m×2.0m、堤防部は6.0m×3.0mのトレンチを設定して調査を行った。

立地と環境 遺跡は、鹿乗川と西鹿乗川が合流する地点から南方の加美橋地点まで約1.4kmの範囲に点在し、南北には碧海台地東縁に沿って鹿乗川流域遺跡群が展開する。

寄島遺跡 トレンチ6か所を設定し、南からTT01～06とした。遺物包含層は確認できなかったが、TT04・05では基盤層上面で遺構を確認した。遺物はTT05から土器小片が1点出土した。

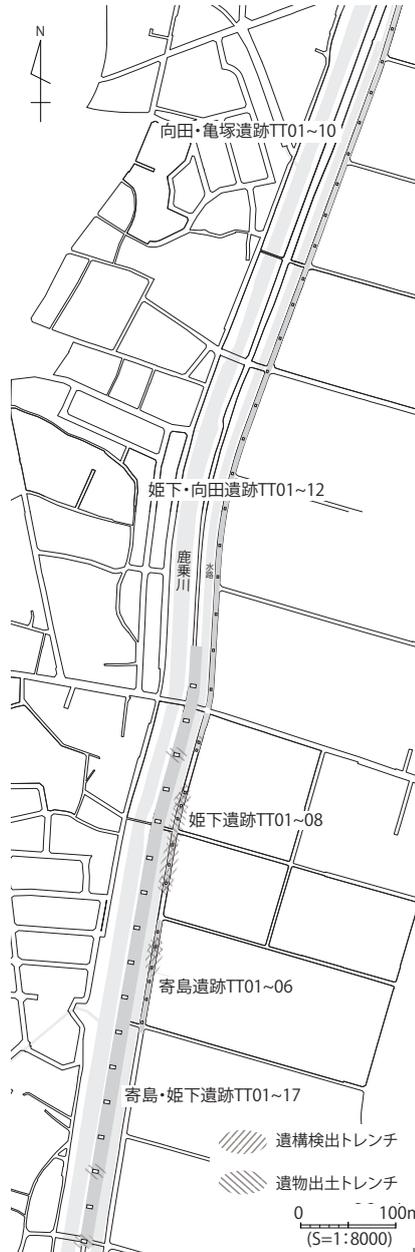
姫下遺跡 トレンチ8か所を設定し、南からTT01～08とした。既往調査で弥生時代～古代とされる流路跡が検出されたTT05・06を除き、全トレンチで遺物包含層が確認された。遺構はTT01～03、TT05・06で検出された。遺物はTT02・07を除く全てのトレンチで出土し、土器、灰釉陶器、近世陶磁器がある。

寄島・姫下遺跡 トレンチ17箇所を設定し、南からTT01～17とした。造成土が厚いためTT16を除いて基盤層らしき層に到達できず、遺物包含層・遺構も確認できなかった。遺物はTT01・03・05で土器・陶磁器小片が少数出土したが、遺構に伴うものではない。

(河嶋優輝)



姫下遺跡 TT08 出土土器



本発掘調査 A トレンチ位置図